

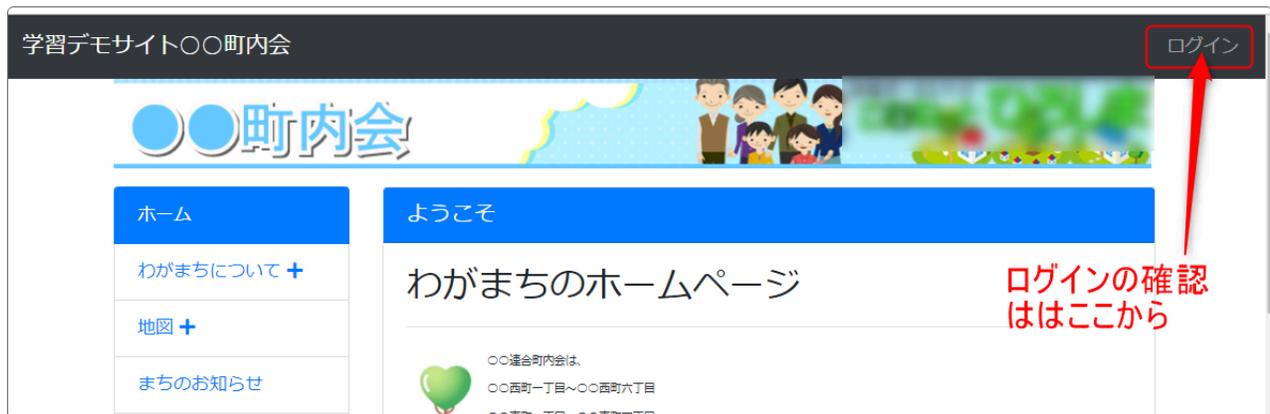
表を作成してみましょう

2024/4/15

Connect-CMS では、固定記事やブログ内の記事に簡単に表を入れることができます。

ここでは、固定記事内に表を作る例を説明します。

1. ログインしていることを確認しましょう



ログインしていると、画面左上の①がアカウント名に変わっています。また、アカウント名の左に「管理機能 ▼」が表示されています。

2. 固定記事内に表を作る

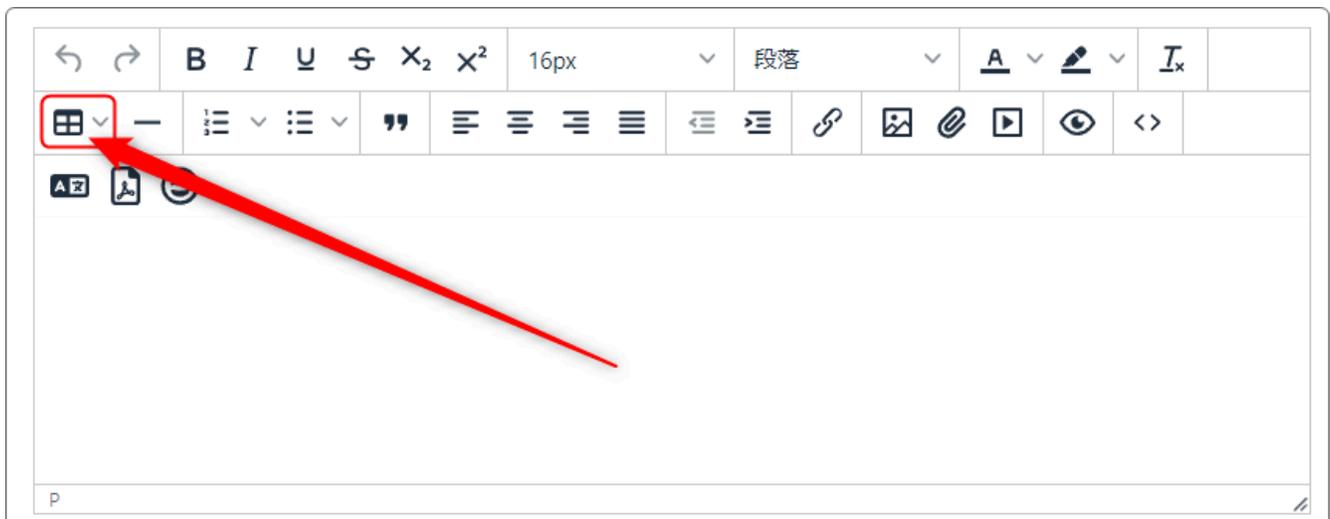
固定記事を設置して、編集モードにします。



編集画面になりますので、メニュー一覧から  を押下します。

 この画面を「WYSIWYG(ウィジウィグ)」と言います。これは、ディスプレイ画面で見たものが、そのまま出力できるエディタのことで、Wordなどのソフトを使用せずにかんたんに見たままを再現できます。Wordなどのソフトを使って作成した文章をそのままコピーすると余計な装飾が入ってしまい、後に編集等が作業しにくくなるので、直接ここで編集をするようにしましょう。

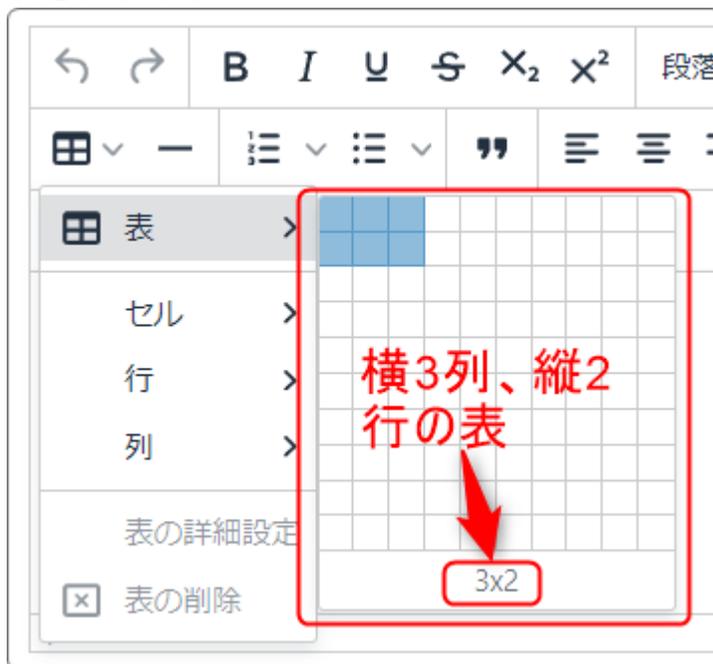
表の作成は、メニューアイコン一覧のなかから、 を使います。



①  を押下すると、表が選択されますので、そのままマウスを「表」の行に移動します。

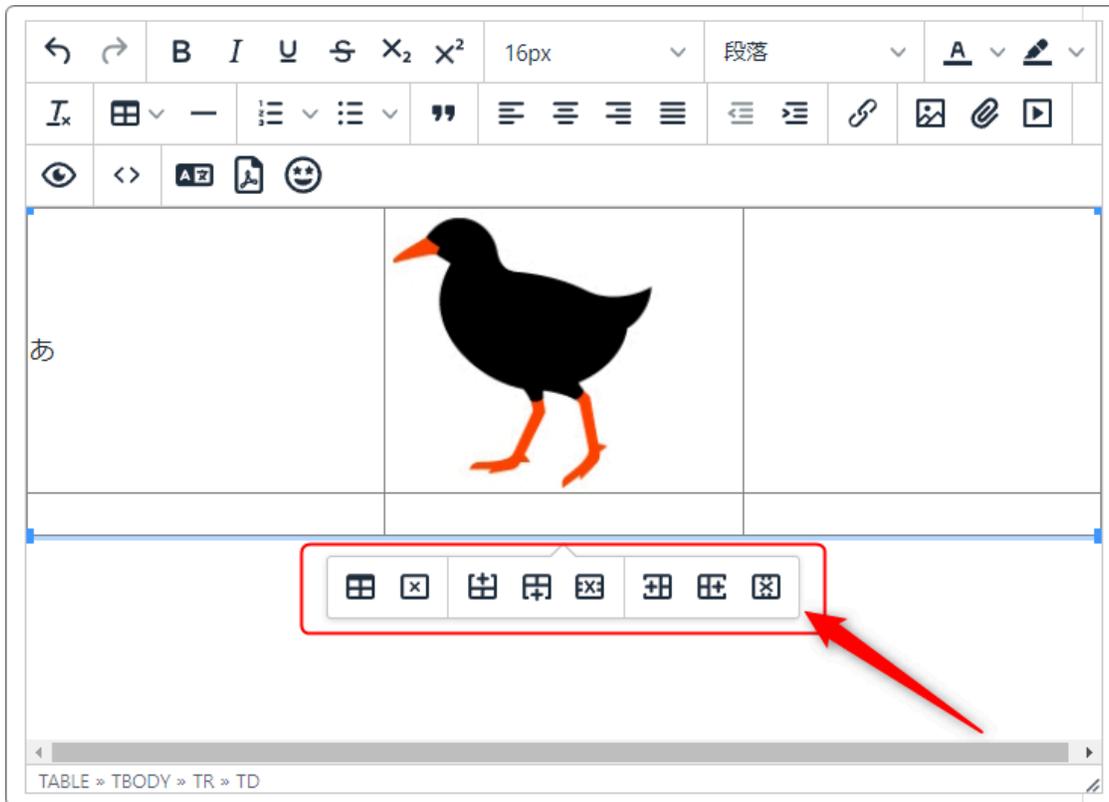


② すると、マス目が表示されますので、作りたい列数と行数をマウスを動かして選択します。その状態のまま、マウスを押下すると、表が作成されます。



3. 表に文字や画像などを入力

表が作成できたら、直接表の中の入力したい箇所でマウスのカーソルを押下して文字を入力や、画像を挿入などができます。



表内にマウスカursorを持っていくと、上図のような記号が表示されます。この記号は左から次のような機能が割り振られています。

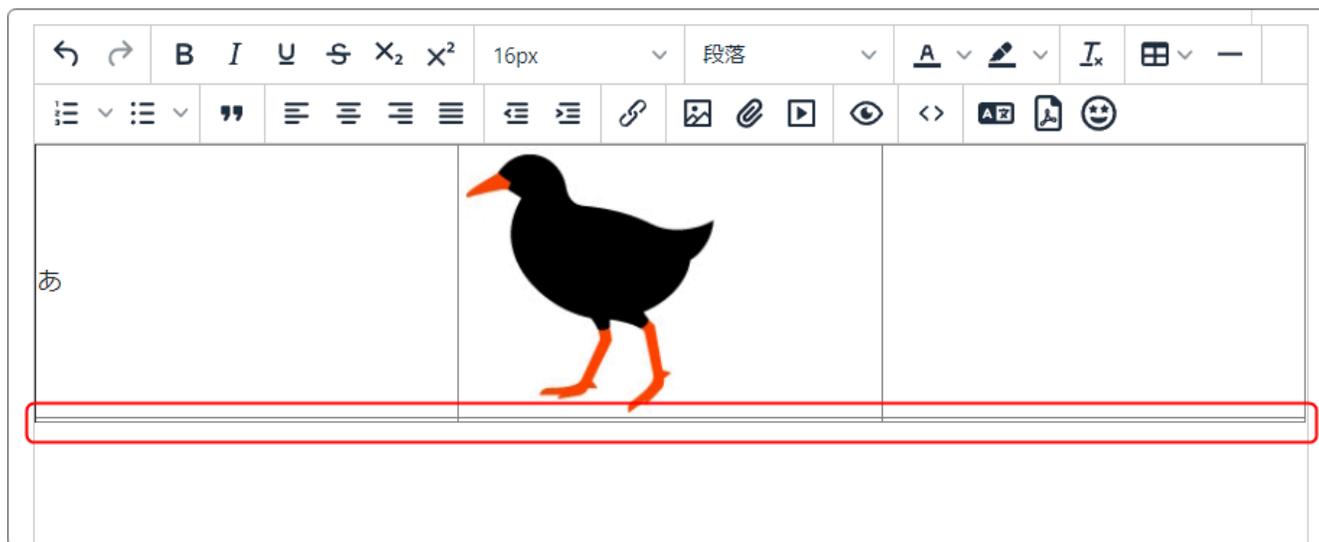
| | | |
|---|---------|---------------------|
|  | 表の詳細設定 | 表全体の詳細を設定できます。 |
|  | 表の削除 | 表を削除します。 |
|  | 行の追加(上) | カーソルがある行の上に行を追加します。 |
|  | 行の追加(下) | カーソルがある行の下に行を追加します。 |
|  | 行削除 | カーソルがある行を削除します。 |
|  | 列の追加(左) | カーソルがある列の左に列を追加します。 |
|  | 列の追加(右) | カーソルがある列の右に列を追加します。 |
|  | 列の削除 | カーソルがある列を削除します。 |

💡 表を作成して、セル内に何も入れない状態で登録すると何も入っていない行は高さがほとんどなくなって(実際は修正可能)入力しにくくなるので、あらかじめ何らかの文字を入れておくと後々の修正が簡単になります。(次図参照)

このような場合でも、2行目の境目あたりにカーソルを移動させると、二重線に上下の矢印のアイコンが表示されます。

それを押下するか、もしくは掴んで上や下に引っ張ると、その行の高さを広げることができます。

行を広げたら文字を入れる、その行を削除するなどの作業がしやすくなります。



4. 表の詳細設定(一般)

を押下すると、表の詳細(一般)を設定することができます。



① 幅

%で設定します。具体的なピクセルを入れると、スマホにしたときに画面からはみ出すことがあります。

%なら画面に併せて縮小されます。

② 高さ

ここは空欄も可能です。

③ セルの間隔

「セルの間隔」とは、1つのセルと隣り合うセルとの間隔です。ピクセル数で設定します。

セル内間隔は表内の全ての枠線同士の間隔が対象となります。

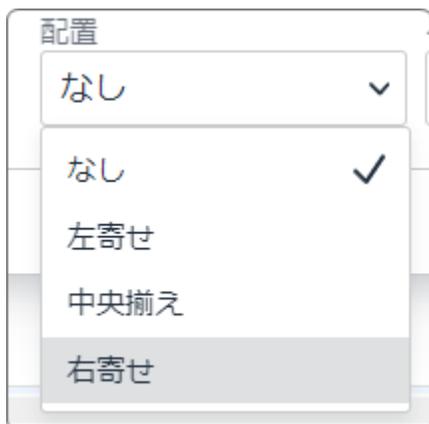
④ セル内余白(パディング)

「セル内余白」とは、セルの内側をぐるりと囲んだ余白の部分です。ピクセル数で設定します。

⑤ 枠線幅

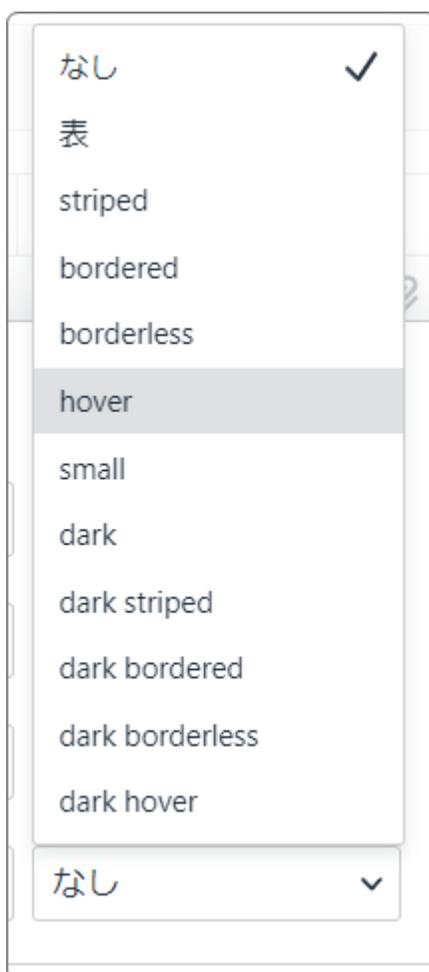
枠線の幅をピクセルで設定します。
ここを「0」にすると枠の線が透明になります。

⑥ 配置



表を配置する場所を設定します。

⑦ クラス



表のスタイルを設定します。

💡 ここで一度設定すると、設定内容によってはHTMLタグを編集しないと、元の状態に戻らない場合があります。

ここを設定する場合は注意しましょう。

5. 表の詳細設定(詳細設定)

表の詳細設定

一般

詳細設定

幅 100%

高さ

セルの間隔

セル内余白 (パディング)

枠線幅 1

表題 キャプションの表示

配置 なし

クラス なし

取消 保存

さらに詳細設定の中の「詳細設定」タブから枠線のスタイルや背景色なども設定することができます。

表の詳細設定

一般

詳細設定

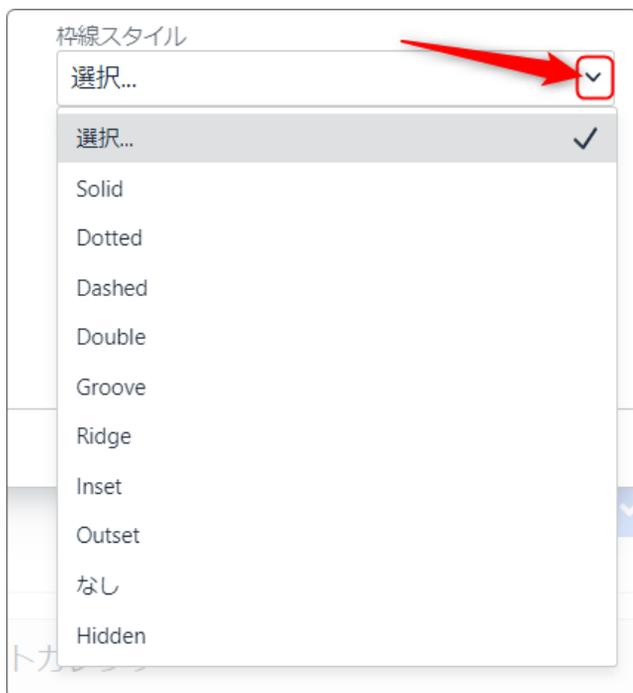
枠線スタイル 選択...

枠線の色

背景色

取消 保存

① 枠線スタイル



選択の ▾ を押下すると、線の種類を選ぶことができます。

点線、二重線など

② 枠線の色

③ 背景色



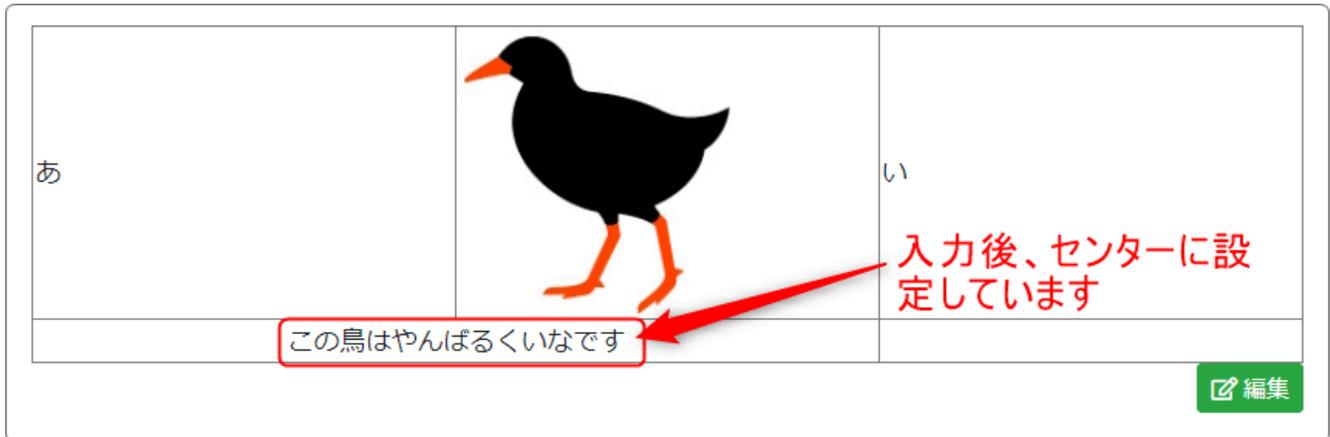
空欄に直接HTMLカラーコード(例: #008b8b)を入れることもできま

すが、 を押下して出てくるカラーパレットから選択することもできます。

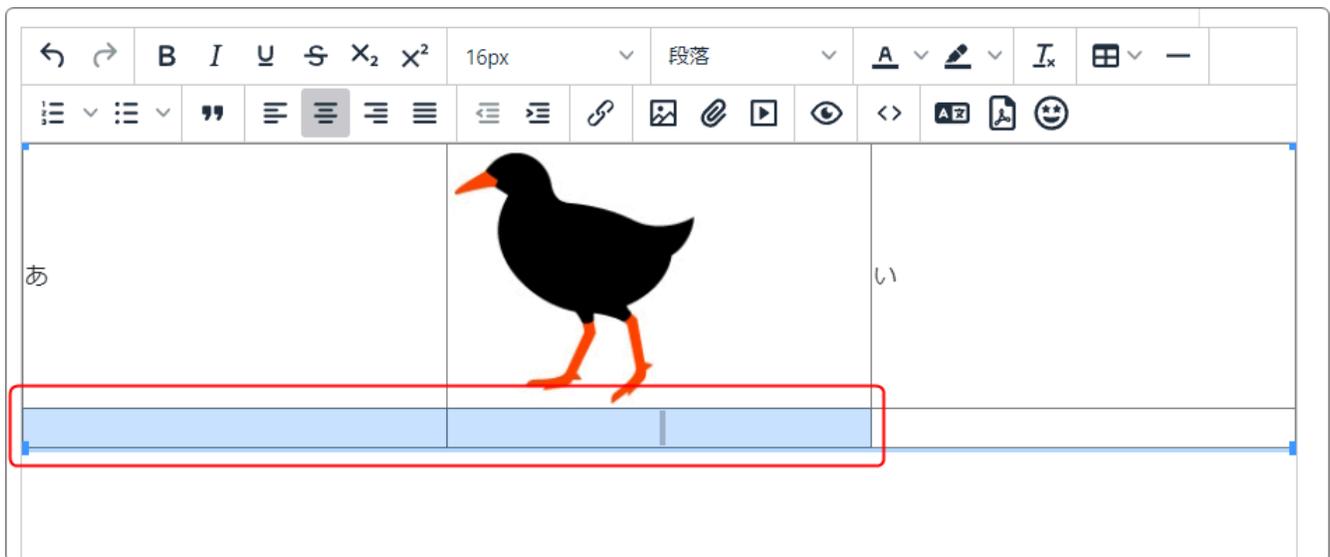
6. セルの結合

例えば1行目の2つのセルの下に説明として2行目に共通の説明文を1つのセルにして入れるとします。

(これを「セルの結合」といいます。)



① セルを結合するには
結合したいセルをマウスで選択します。

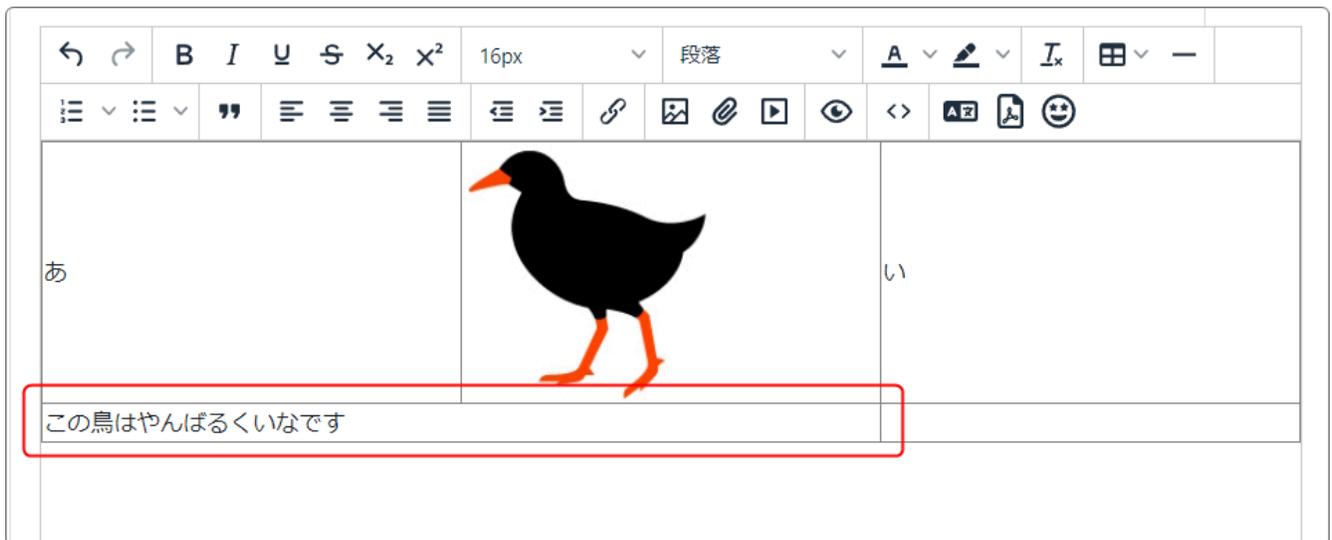


選択した状態で、メニューの中の表作成用アイコン、 の  を押下します。



そのままマウスを①⇒②⇒③の順に動かすと「セルの結合」が出てきますので、そのまま押下します。

文字が入っていても空欄でも複数のセルが結合され、1つのセルになります。文字が入っている場合、右側のセル内の文字は左側のセル内の文字の下に移動して1つのセルになります。

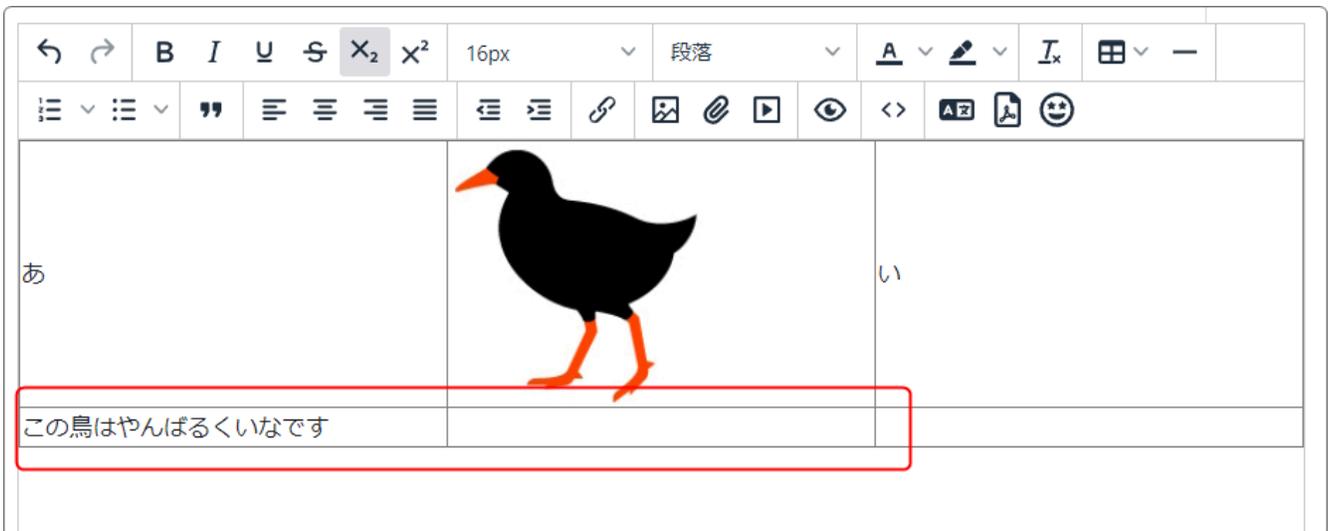


② 結合したセルを解除して元の複数のセルにするには
解除したいセル内にカーソルを移動させて、そのままメニューの中の表作成用
アイコン、 の  を押下します。



そのままマウスを①⇒②⇒③の順に動かすと「セルの分割」が出てきますので、そのまま押下します。

結合前の状態に戻ります。



7. 表を使う際の注意

表はスマホにすると自動的に画面の大きさに合わせて拡大・縮小されます。
(表の幅を%で指定した場合は、直接ピクセルで指定した場合は、拡大・縮小はされません。)

表の中の文字の大きさは画面の大きさが変わっても変わりませんが、画像や写真は画面の大きさに影響されます。

また、文字も1行で表示されていたものが複数行に分かれてしまいます。

場合によっては、表を使わない方がいい場合もあります。

表はスマホにした時の表示を確認しながら使いましょう。

表を使って一行の中に複数の画像を挿入する場合は、前もって画像の大きさを揃えましょう。

特に高さが違うと表内の画像がデコボコになり、余計な余白が入ってしまいます。

横型の画像の中にタテ型の画像を交える場合も、順番を工夫してタテ型はまとめて表示する、などの工夫が必要です。



画像の大きさについて

画像をアップロードしようとした時に表示される「画像の挿入・編集」画面を開いた時に、すでに画像サイズが指定されている場合は、自動的にアップロードするとその大きさに変換されます。

ただし、サーバには元々の大きさの画像でアップロードされます。

多数の大きな画像をアップロードするとサーバの容量を圧迫されるので、必要がない限り事前に写真の大きさは揃えておきましょう。



次のサンプルは、上のサンプルで「セル内余白(マージン)」を5ピクセルに設定した状態です。



このように、写真を続けて挿入する場合は、写真の周囲に適宜マージンを入れると見やすくなります。